

津波避難施設完成！ ～白糠地区避難施設落成記念式典～

3月23日(月)、白糠地区で建設が進んでいた津波避難施設「白糠地区避難施設」が完成し、落成記念式典が執り行われました。

これまで白糠地区の避難場所は「いさりび館」としてまいりました。しかし、「いさりび館」の立地地点が津波浸水想定区域に指定されたことを受け、これに替わる施設として、津波の影響を受けない海拔32・5メートルの高台に建設されました。

式典では、越善村長が「万が一、津波により災害が発生した際は、地域住民が安心して避難生活を送って頂ける施設として、又、様々な地域の活動拠点として大いに活用され、地域の交流の場となることを望んでいます」と式辞を述べました。



続いて、工事に携わった(株)川島隆太郎建築事務所及び(株)野村建設(株)に感謝状が贈られ、白糠勇清倶楽会が屋根めを行いました。



に、日頃から家族で避難対策を心がけ、津波の危険を感じた場合は、最優先に高い場所に「逃げる」ことを心がけましょう。

「白糠地区避難施設」は約120名の収容が可能で、避難室は仕切ることもでき、乳幼児や障害者用の避難室もあるため、多目的な利用が可能です。施設内は災害用備品を収納する備蓄倉庫が設けられており、毛布やベッド、車イスなどが備えつけられました。また、建設された高台は旧白糠小学校の跡地で、平成25年12月に開通した白糠バイパスへも簡単にアクセスできます。

災害が発生した際は、「自分の命は自分で守る」ということが何よりも大切です。いざという時のために、日頃から家族で避難対策を心



名称	白糠地区避難施設
工期	着工：平成26年6月10日 完成：平成27年3月5日
延床面積	341.58㎡
建築構造	木造平屋
総事業費	154,488千円